

2020年9月13日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」

- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -

(マタイによる福音書 28 : 19~20)

聖霊降臨節第16主日

〈神の招き〉	前奏		
	招きの詞	詩編 96 : 1 ~ 3	
	交読詩編	65 : 6 ~ 14	
	讚美歌	7	
〈神の言葉〉	聖書	哀歌 3 : 22 ~ 27	(旧約 新共同訳 1289 頁)
		ヨハネによる福音書 20 : 28 ~ 31	(新約 新共同訳 210 頁)
	祈禱		
	讚美歌	56	
	説教	「命を受けるために」	熊江秀一牧師
	祈禱		
	黙想		
	讚美歌	403	
〈神への応答〉	使徒信条		
	献金の祈り	各自その場でおささげ下さい。ささげられた献金は後日	
	頌栄	27	
	派遣と祝福		
	後奏		

今週の御言葉(ヨハネによる福音書 20:31)

これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

次週の礼拝(9月20日)第3礼拝開始

①9:00、②10:30 説教「湖での再会」 熊江秀一牧師 イザヤ 60:1~3、ヨハネ福音書 21:1~14 交読詩編 23:1~6 讚美歌 8、57、459、27	③15:00 説教「安息日論争」 高橋真之伝道師 出エジプト 20:8~11、マタイ福音書 12:1~14 交読詩編 23:1~6 讚美歌 205、56、532、27
--	--

- 今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。
1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為
 2. 東日本大震災・九州豪雨等の被災者の為
 3. 集まっの礼拝再開の為
 4. 新任教師就任式の為
 5. 新型コロナウイルス感染終息の為
 6. 病気の兄姉の為

*関東教区お祈りカレンダー 矢坂教会、西那須野教会、那須塩原伝道所

◇先週の説教より「信じる者になりなさい」創世記 15:4~6、ヨハネ福音書 20章 24~29節 熊江秀一牧師	に平和があるように」と宣言した。そして主はトマスの思いに応え、手の釘跡やわき腹の傷を示し、触れるように告げた。この主の愛にトマスの心は開かれ「わたしの主、わたしの神よ」と告白した。
復活の主がディディモと呼ばれるトマスに現れた箇所が与えられた。彼は復活の主が弟子たちに現れた時、その場にいなかった。弟子たちはトマスを訪ね主が復活されたことを伝えた。主に遣わされた弟子たちはその喜びの知らせを直ちに友で伝えたのである。しかしトマスはそれを受け入れず、主の手の釘跡やわき腹の傷を見、触れなければ「決して信じない」と答えた。その姿を私たちは笑えない。私たちが目に見える証拠を求めるからである。	この告白はヨハネ福音書のクライマックスである(元々は20章まで)。またこの告白は教会の信仰告白の原型となった。私たちもこの福音書の最後にこの告白をするのである。
弟子たちは八日の後、トマスを誘い再び集まった。この時も家の戸の鍵は閉められた。しかしこれは恐れではなく、1週間前の出来事を追体験して、主の復活を証しするためである。主の日に弟子たちが集まり、主の復活の出来事が証しされる。ここに教会の主日礼拝の原点がある。	さらに復活の主はトマスを見ないのに信じる」信仰の幸いへと招かれる。「信仰とは望んでいる事がらを確認し、見えない事実を確認することです」(ヘブライ 11:1)。ディディモとは双子という意味である。彼の双子の一人は私たちである。今日、主の日に復活の主に出会っていただき、トマスと共に「わたしの主、わたしの神よ」と告白し、信仰の幸いに生きよう。
そこに復活の主が現れ、真ん中に立ち「あなたがた	